

## 36 おうじょう 王城のケヤキ



指 定 県天然記念物 昭和61年 3 月27日  
所在地 岩 村 田  
所有者 荒宿十二社



王城のケヤキは、中世佐久郡東部に威勢を張った大井氏の宗家の居城跡（県史跡）にあり、この地域の最古木で王城のシンボルとして尊重されている。樹下には氏神・道祖神・石尊山・不動尊・金比羅の諸神が祭られ、周辺一帯は王城公園として市民に親しまれ、信仰の対象地ともなっており、年神のおしめ・燈明などもあがっている。

植物分類上は、ニレ科ケヤキ属に属するケヤキである。

樹齢は未詳であるが、目通り周9.15m、樹高26m、枝張り南北31m、東西31m、樹勢はすこぶる旺盛である。

地形上、湯川段丘崖上にあり、日照・風通しも良く樹の成育を妨げるものはなく、佐久平北部における目標樹とされ、風致にも効をそえ、大巨樹として繁茂している。